

『ために』 作…ポチ子

目の前の知らない人に好かれるために、

メイクをして、

新しい服を着て、

上品にちまちま飯を食べる。

牛丼屋でひとり、

紅シヨウガと七味を死ぬほどかけて、

生卵も追加して食べる方が、

よっぽど幸せだな。

そんなこと言ったら、

『ために』 作：ポチ子

この人はドン引きするかな。

それが普段の私なんだけど。

私は私らしさを隠して、

この知らん人に好かれたいのかな。

それに隠したところで、

この人に好かれるとも限らない。

小さくて冷たいくせに、

無駄に高いステーキ。

いつもの牛丼くらいギシギシ。

なんて文句も言えない。